

働く環境改善で 市立病院の看護師確保を

やまぐち まさこ
教育環境常任委員 **山口 正子**

看護師不足解消策、休暇取得・時間外勤務など就業規則の周知を確認するとともに、不適切な労働実態は是正してパワハラのない働きやすい環境改善を求めました。

市は「今年度中に就業規則のポケットマニュアルを作成して周知を図り、外部の専門家による相談体制を整備して看護師の離職防止を図っている」と答弁しました。

その他の質問項目

送迎保育ステーションの保育状況は
放課後児童クラブ支援員の研修及び
多人数クラブの問題
市立病院の女性特別外来の拡充を
新松戸学校跡地の施設は市民参加で運営を

県道松戸鎌ヶ谷線の 歩道改善を一日も早く

ひらた
建設経済常任委員 **平田 きよみ**

六実一丁目から東武野田線の踏切に至る歩道は、一人通るのがやっとという狭さの上、段差が多く、高齢者や車椅子・ベビーカー利用の方にとっては危険と困難が多いため、改善を求めました。

答弁では市も同様の認識を持っていること、県に対し毎年開かれる道路調整会議の場で要望しているとのことでした。引き続き県への働きかけの強化を要求しました。

その他の質問項目

自転車の交通安全対策を
学校給食費の公会計化を
全国学力テストの結果の扱い
総合教育会議の在り方について
県立中学校の教科書採択への見解を問う
小中学校運動会の団体演技について

ショートステイの空きベッドを特養 ホームに転換し、待機者解消を

宇津野 ふみゆき
総務財務常任委員 **うつの 史行**

「ショートステイの利用が減り、空いた分のベッドを特養ホームとして活用（転換）できないか」との声が事業者から上がっています。

市は「慎重な検討が必要」という姿勢ですが、特養ホームを新設するよりも安く、空きベッドの有効活用もできるため、隣の柏市も検討を始めています。実態調査を実施し、特養ホーム待機者の解消につなげるよう求めました。

その他の質問項目

市営住宅家賃の誤徴収について
胡録台公園を憩える公園に
市民参加型防犯カメラの違法性について
不公平な松戸の国民健康保険料は引き下げを



左から、高橋たえ子、うつの史行市議、
みわ由美県議、平田きよみ、山口正子、高木健市議

明けましておめでとうございます。
昨年、憲法違反の戦争法（安保法制）の強行成立に対し、松戸市でも反対の市民運動が大きく広がりました。
今年も市民のくらし・福祉を守り、戦争法廃止に向けて全力で頑張る決意です。

18歳選挙権と 「政治教育」について

たかはし 妙子
建設経済常任委員 **高橋 たえ子**

政治の中立は保ちつつも、積極的に政治を考えるべき立場から、7月の参議院選挙から対象となる高校生に対する「政治教育」について質問しました。

選挙管理委員会からは「18歳選挙権を機会に学校現場から『政治教育』を進める」こと、また「18、19歳の新有権者にバスデーカードを送り、選挙喚起を進めていく」と積極的な答弁がありました。

その他の質問項目

住宅リフォーム助成制度の実施を
コミュニティバス導入について
松戸駅周辺まちづくり計画は住民参加と情報公開を
集中豪雨による浸水対策について
子どもの権利条約を生かし、いじめのない学校づくりを

福祉タクシーの給付拡大で 透析患者の負担軽減を!

たかぎ けん
健康福祉常任委員 **高木 健**

障害者の移動を支援する福祉タクシー券は、年210枚支給されています。しかし、透析患者は年156回の通院(往復312枚)が必要で、100枚以上が不足しています。

市の「これまでも拡大してきたが、他市の動向を見ながら検討していく」という答弁に対し、「前回の拡大から既に14年。市川市や船橋市の312枚をはじめ、松戸を上回る他市にならない、枚数増に踏み出すべき」と強く訴えました。

その他の質問項目

公共施設再編の名による学校統廃合はやめよ
公立保育所の駐車場確保を
小企業への支援拡大を

県内37市比較 つめたい松戸の国保— 全力で不公平の解消を

通常、医療や介護にかかる費用が安ければ、保険料も安くなります。しかし松戸市は「費用は安いのに保険料は高い」不公平な状態です。

県内37市の保険給付費（医療・介護にかかる費用）は平均32万8044円で、平均より費用が安いのは松戸市を含む16市。

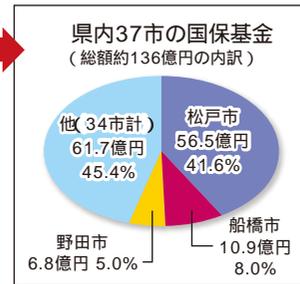
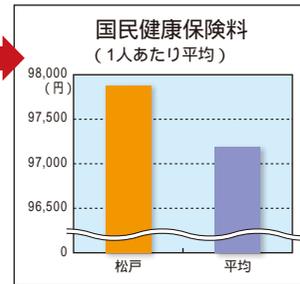
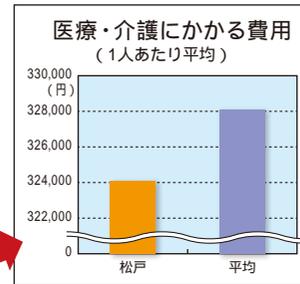
県内37市の保険料は平均9万7183円。16市の中で平均より保険料が高いのは松戸市を含む7市。この7市は「費用が安いのに保険料が高い不公平な状態」です。

7市のうち、保険料を安く抑えるための一般会計繰入金（補助金のようなもの）を出しているのは5市。出していないのは松戸市を含む2市（もう一つは大網白里市）です。

松戸市が国保の黒字を毎年貯め込んだ国保基金は約56億円、県内37市の合計136億円の実に41%を占めています。

県内37市の1人あたり国保基金は平均8093円。松戸市は4万1636円で平均の4倍、大網白里市は6346円で平均以下です。

「不公平を解消できる条件があるのに努力していないのは松戸市だけ」「一般会計繰入金や、貯め込んだ国保基金の活用で保険料を引き下げ、不公平の解消を」と指摘しましたが、市は引き下げを拒む姿勢を崩しませんでした。



2015年12月
松戸市議会

平和憲法が 花開く年!

くらしと民主主義を守る市政へ

日本共産党

どうぞあなたのご意見・ご要望をお寄せください

まつど民報

【市政報告】

2016年1・2月号
日本共産党松戸市議団
TEL 047(366)7403
FAX 047(366)6915

ご意見・お問い合わせはホームページから

日本共産党松戸市議団 検索



